

セルフモニタリング報告書(令和元年度分)

令和2年 4月 27日

施設名 苦小牧市拓勇公園・日の出公園
 指定管理者名 公益社団法人 苦小牧シルバー人材センター
 所管課名 都市建設部緑地公園課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	適切に管理運営を行いました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	目標を達成することが出来ませんでした。	A・Ⓑ・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	計画どおり行いました。	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	取り組むことができました。	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	アンケート調査の結果から満足を得られている。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	意見箱などで把握し対応している。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	可能な範囲内で改善している。	Ⓐ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	効率的な管理運営に努め、縮減した執行となる。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	適切に経費が縮小されるように取組ました。	Ⓐ・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。		A・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正な配置及び管理体制としている。	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	接遇講習や技能講習(新人)を実施している。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	条例・規則等に従い処理している。	Ⓐ・B・C・D・E

利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	適切に管理している。	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適切に管理している。	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適切に管理している。	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適時チェックしながら、適切に管理している。	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	適正に実施いたしましたが、今後より一層注意してまいります。	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	適切に管理している。	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	全てに貢献できるように努めました。	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
 B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
 C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
 D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
 E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

- ① 維持管理については、計画どおり実施いたしました。
- ② 自主事業については、ラジオ体操、除草講習会、花のパートナー(ボランティア)を昨年に引続き実施しました。新規事業として防災公園である日の出公園で「防災講習会」を実施し市民に大変好評でありました。また、チビッコチャレンジは「苫小牧市の木の花ハスカップ展示」を行いました。
- ③ 維持管理については、効率的な運営となるよう利用者ニーズに応えながら取り組んでおります。
- ④ 経費については、スタッフ全員で継続した取り組み等により縮減した執行となっております。
利用者アンケート調査では「満足・やや満足」の満足度が 97.7%と、高い評価を得ており利用者ニーズに応えられるよう、改善できるものから実現してまいります。
- ⑤ ボランティア等については、近隣の企業様の協力をいただき公園内の清掃を行いました。
入園者数については、合計で 90,000 人の目標に対し、82,393 人と目標を下回ることとなりました。